

〒162-0814  
 東京都新宿区新小川町5番24号  
 電話 03-3260-6331  
 Fax 03-3235-4324  
 E-mail jwaf@jwaf.jp  
 HP http://www.jwaf.jp  
 発行責任者 浦添 嘉徳

日本勤労者山岳連盟  
 Japan Workers Alpine Federation

連絡や情報は下記へ  
 フリーダイヤル(10時~18時)  
**0120-442-742**

# ROUSAN 登山ニュース

## 創造力で切り開いた オンライン課題別講演会

### 全会員参加型の プレ全登研集会

2021年は「全国登山研究会」の「全国登山研究集会」を主催する予定だったが、コロナ禍のなか、全国的な集会は「中止」せざるをえなかった。集会を準備する組織部として、ただ中止するのではなく、何か方法はないか、議論を重ねるなかでアイデアが生まれた。大きな集会は無理でもZoomを活用した「講演会」で、全国の会員とつながる集会、来

年の「全国登山研究集会」に上げる「プレ集会」を開く、というものだった。オンラインによる「全登研プレ課題別講演会」を8回開催、講演者は全て全国連盟・地方連盟の方にお願ひし約500名が参加した。参加できなかった会員に、講演の主な内容を紹介する。

久保典子 (全国連盟副理事長・組織部長)

**第6回 全国登山研究会 課題別講演会**

**第1部**  
 思い立ったが吉日!  
**還暦からのボルダリング**  
 ~トレーニングと健康増進~  
 講演者: 山本裕之 道央地区理事  
 日時: 2021年9月29日(水)  
 18時30分~19時30分

**第2部**  
**コロナ禍でも  
 会員を増やす  
 総合山岳会**  
 講演者: スマイル・マウンテン・クラブ  
 日時: 2021年9月29日(水)  
 19時30分~20時30分

参加方法 ◆オンライン7(ZOOM)で配信します。パソコン及びスマホ等で、全国連盟HPで申し込んでください。

第6回講演者が自ら作成した案内チラシ

**主な記事**

- 2面 第3回~5回の課題別講演会
- 3面 第6回~8回の課題別講演会
- 4面 若手のためのクライミング講習会
- 5面 集会・活動者会議などの主な内容
- 6面 みやぎトレッキングクラブ
- 7面 冬山の安全登山のポイント
- 8面 山筋ゴーゴ体操講習会

夏山の登山シーズンを前に、安全登山について講演。2016年から2020年までの5年間で1490名の事故一報の資料をもとに分析。また、5年間に33名(最3~8回の講演会の内容は2~3面に掲載)

**第2回 夏山シーズンを前に緊急ア  
 講演会 講師 石川 昌 (全国連盟理事・渉対部長)**

夏山の登山シーズンを前に、安全登山について講演。2016年から2020年までの5年間で1490名の事故一報の資料をもとに分析。また、5年間に33名(最3~8回の講演会の内容は2~3面に掲載)

**第1回 労山基金の魅力  
 講演会 講師 川嶋高志 (全国連盟事務局長)**



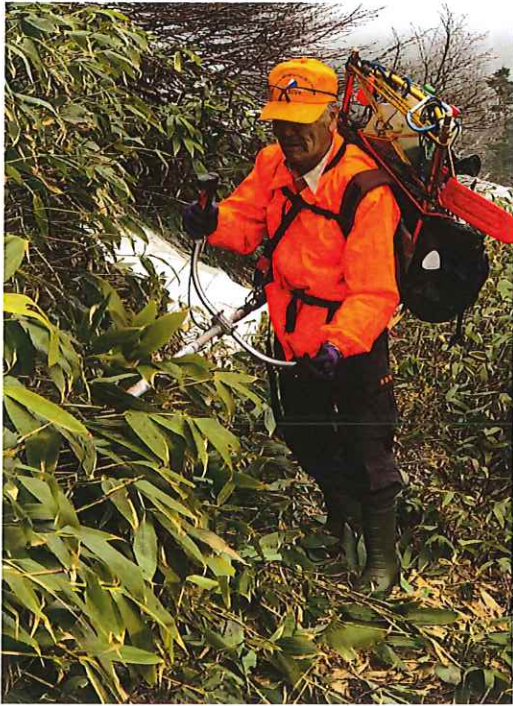


**第3回 登山者の安全と自然保護**  
**講演会 講師 森初芳** (栃木県連盟 自然保護部長)

栃木県連盟の森初芳氏は、自然保護の活動の重要性、登山者の安全と命を守るために避難小屋の管理の重要性について熱く語った。

森氏は、5月中旬には毎年、金精峠から念仏平避難小屋の登山路の整備とクマザサ刈り、念仏平避難小屋の清掃、日光白根の避難小屋の清掃も栃木労山とともに実施している。

老朽化した念仏平避難小屋を建て替えるために、環境



チェーンソーや燃料を担いで草刈り機で登山路のクマザサを刈る森初芳さん

**第4回 「平和と登山」を求めて**  
**講演会 講師 荒木辰彦** (福岡県連盟 会長)

省と交渉し建て替えを実現させている。かつて管理して話にも、参加者は感動した。

「平和と登山」は、登山運動の大きな柱のひとつ。荒木氏は、福岡県勤労者山岳連盟の結成に参加。当初から労山の仲間と共に「平和と登山」を求めて、その先頭に立ち実践活動を推進してこられた方。

核兵器禁止を求める国民平和大行進は、全都道府県で

いた庚申山荘で、生まれたてのシカの子どもを育てて「花」と命名して森に戻し、毎年花と触れ合った経験の講話にも、参加者は感動した。

2021年1月には、国連の核兵器禁止条約が発行、タイムリーな講演会だった。全国労山は、2月の評議会で、日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める決議を行った。

**第5回 分かりやすい文章の書き方**  
**講演会 講師 石川友好** (全国連盟副理事 長・財政部長)

石川氏は、労働組合の機関紙・ニュース発行の責任者だった経験を活かし、各会



全都道府県で実施される、核兵器禁止を求める国民平和大行進 世界の中でも例のない大イベント

では、分かりにくいだろうというところで山本全国理事が講師の補助役を務め、掛け合いの話でリラックスした楽しい雰囲気の話だった。



第6回講演会

還暦からのボルダリング

講師 山本裕之 (全国連盟理事・組織部長)

コロナ禍でも会員は増やせる

講師 早坂直樹 (北海道連盟理事長)

第6回講演会は、2部構成で実施。宣伝チラシは1面で紹介したように、興味をそそるものだった

第1部 思い立ったら吉日！

還暦からのボルダリング

遅いのでは、と思われる方も多いのでは？。話を聞いていると山本氏は、研究を重ねてボルダリングを実行されており、「なるほど」と思いながら聞いていた方も多かったのでは。

パワーポイントを活用した講演に引き込まれた。

第1部 釜石労山は、東日本大震災

第8回講演会も2部構成で行った。いかにして復活したか

第8回講演会

釜石大震災からの復活報告

講師 小笠原淳子 (釜石労山事務局長)

災害支援の新たな取り組みについて

講師 渡邊健治 (全国連盟理事・組織部長)

第1部 釜石労山は、東日本大震災

で42名の会員のうち、津波

の創立者。

創立時は、会員4名だったが、昨年11月には39名に。楽しい山行、会運営についての話に、ZOOM参加者から、質問が多く出された。会活動の詳細について、早坂氏は、3年前に結成された、北海道道央連盟の「スマイル・マウンテン・クラブ」全国労山HPでも見られる。

による家屋流失などで19名が被災。被災直後に支援活動と会員の被災状況を会報で報告、仲間を励ました。被災後も会山行を活発にし、会員数を維持している活動など、感動的な講演だった。

第2部 災害支援の新たな取り組みについて

岩手県連盟は、災害発生後

すぐに釜石・大槌・宮古など津波による会員の被害状況の調査を実施、会員の災害支援に取り組んだ。渡邊氏は、これらの取り組みの経験から、新たな視点からの取り組みを提起した講演だった

第7回 HP活用の組織拡大

講演会

講師 阿部哲也 (全国連盟理事・組織部長)

「楽ちん。楽々！」「ホームページを活用した組織拡大」と銘打った講演。しかし、全国連盟・組織部でパソコンの立ち上げがうまくいかずに配信が大幅に遅れ、参加者の方々に、大迷惑をかけてしまった。



民宿の家の上に押し上げられた観光船

講演会のZOOM参加者は、約500名だった。コロナ禍でも、オンラインで会員との意思疎通が出来ることを示したものだ。毎月

の組織部会では、各講演会の課題や問題点を議論し改善してきた

魅力ある「人材力」

労山の「大きな力」に

が、問題も生じて

しまった。しかし、第8回の講演会では、映像、音声、参加者との質疑・応答など成功裏に終了した。

組織部としては、課題別講演会の題目と講師を選ぶことについても議論を重ね

た。そして、労山内に、こんな活動を実践している方々を活用するため取り組みだ。多くの地方連盟の会員の協力があつたからこそできた。課題別講演会だった。そして、労山内に、こんなにも豊かな先人たちがいる

ことに励まされ、驚いた。この「人材力」「人財力」こそが労山の「魅力」であり、「大きな力」だと感じるとともに、労山のこれからの大きな力になることに確信を持てた。(久保典子)

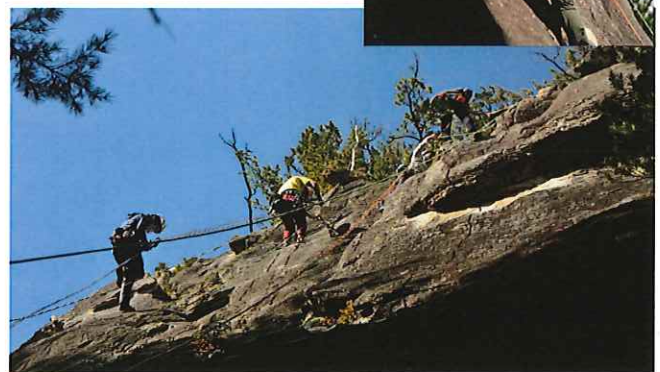
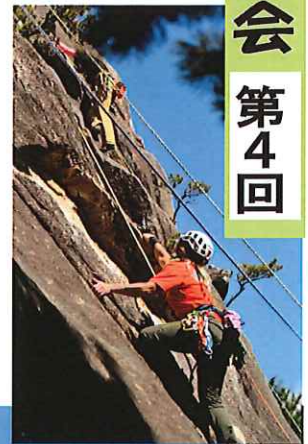


# 若手のためのクライミング講習会 第4回

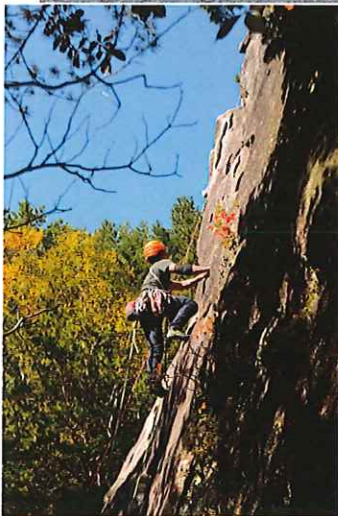
## 技術の向上をめざして

全国連盟理事・青年学生委員長 **三瓶 健**

10月2、3日、長野県小川山・廻り目平で、第4回「若手のためのクライミング講習会」を開催した。参加者は、20名（受講生11名、講師・取材9名）で、北は宮城県、南は香川県と全国から集まり、晴天に恵まれ、カラビナ・スリング類



た2日間で充実しといった基本装備のチェック講習となった。これは、若手クグシステム、登り方などをライマー育成を目ひと通り説明。その後、トツ的としたもので、プロップでのクライミング①技術レベルの向と懸垂下降の練習を行い、上を図る、②クラ午後3時に終了。イミング仲間を増やす、③遭難事故を防ぐことをの確認、クライミングや登



講習会のトップロープ、懸垂下降用のロープを設置する三瓶青年・学生委員長

山では、「柔軟な思考」をもつことが重要で、さまざまな事例で説明した。2日目は、初日の登りや技術力などで3班に分て実施。ロープワークやシステム習熟を目的とした1班、マルチピッチ基礎の2班（八幡沢「春のもどり雪」、マルチピッチ実践の3班（屋根岩3峰「南稜神奈川ルート」と、みっちりに登り込んだ。受講生からは「来年もぜひ参加したい」

という声も多く聞かれた。若手会員のレベルアップを目的としたこの講習会も、回を重ねてきたことで、色々な課題が見えてきた。今回の講習生は、ある程度のクライミング経験があるようだったが、ハーネスとロープを連結するための「エイトノット」や、懸垂下降時のロープ結束や手順など、基礎中の基礎とも言える技術がうろ覚え。「形は何となく分かるが、きちんと出来ていない」というケースが見受けられた。

ロープワークや支点構築、懸垂下降といった技術は、初心者であっても確実に出来なければ事故になる。先輩に教えを請う、クライミング教本を読む、教わったことを自分で検証する、そして繰り返し練習して基礎をしっかりと身につけて欲しい。

金峰山荘前で、全員集合





2021年は、いろんな集会や活動者会議、講座が計画されていたが、コロナ禍で中止せざるを得ないものもあった。実施された集会の主な内容を紹介する。

## 全国機関誌会議

6月20日

全国連盟機関誌の「登山 進んでいる。12月には、体名」の購読数が減少を続  
裁について検討する。

## 全国救助技術交流集会

7月3～4日

全国救助技術交流集会を 収集できた索機器と民間救  
7月3～4日に、福岡県連 助組織について、③スマート  
盟の主管で、県立社会教育 フォンを活用した位置情報  
総合センターで開催した。 検索、④ココヘリドローンの  
初日は、①最近の遭難事故 捜索紹介が報告された。

## 全国ハイキング活動者

6月26日

全国ハイキング活動者会議 会議では、9団体から活動  
を6月26日、全国連盟事務所 報告が寄せられ、それぞれ報  
で開催、45名（ZOOMが33 告してもらった。

この会議に向けて、会・クの影響を受けていた。  
ラブにアンケート調査をお願い

## 基金担当者実務説明会

- 6月26日、長野県連盟 20名（WEB参加2名）が
- 7月10日、東京都連盟

## 全国自然保護講座 7月10～11日

全国自然保護講座は、京都 告が行われた。  
府連盟の主管で、北陸新幹線 2日目は、北陸新幹線の  
の隧道工事から山岳自然を守 通過予定地域にバスで移動、  
ることをテーマに開かれた。 「知井の新幹線問題を考える  
初日は、「あうる京北」で、 有志の会」の代表から説明  
講演と3地方連盟から活動報 を受け、視察した。

地方連盟に呼びかけて6 月30日機関誌会議を開き、  
その後、検討委員を募って 検討委員会を開催し、検討  
をすすめている。委員会では、機関誌であるならば、  
全会員に届けるのが原則で あり、その方法として、紙  
媒体と電子媒体で配布でき るようにすることで議論が



樹芸の森の訓練参加者

下の写真 ドローンを使った位置情報検索



いたヒトココ子機の搜索訓 練。ドローンにヒトココ中  
継器を搭載して飛行させ、 子機信号の検索を行った。  
天候は雨模様で風も強かつ たが、森に置いてあるヒト  
ココ機の上空で、位置情報 を得ることができた。





# 仲間と共に汗をかき自然の景観を楽しむ

会結成1年

定例山行で  
心身共にリフレッシュ

みやぎトレッキング

大友 津代

宮城県連盟



紅葉を背に栗駒山結成山行

昨年10月「みやぎトレッキングクラブ」を結成、新日本スポーツ連宮城と宮城県勤労者山岳連盟に加入した。

最初は、スポーツ連会員と友人を誘って10名で発足、現在は40代から70代まで13名の会に成長している。

会結成のきっかけとなった。所属するスポーツ連宮城から宮城県労山が2019年に、わけあって脱退、山の会が無くなった事だった。

私は、登山も趣味にしていたので、スポーツ連宮城で新たに労山にも加盟する山の会を作ろうと登山の経験と知識豊富な労山のお二人に相談。その結果、会則等の準備から会の運営などにも関わってもらう事になり、本当に心強いクラブとなった。

昨年6月の蔵王刈田岳山行のプレ企画から10月の紅葉が素晴らしい栗駒山登山を結成山行と決めて取り組

んだ。下山後、温泉のロビーで会の規約等を説明し結成となった。

会のキャッチフレーズは

「山のベテランと一緒に

登れる・学べる」

みやぎトレッキングクラブ 全な趣味として人気。「山やのキャッチフレーズは、「山自然を歩きたい」という方のベテランと一緒に登れる・学べる」にしている。周囲には沢山いる。山を安全に歩く為には、日

労山加盟の会として安全な登山と自然保護や山の知識も学べる事の特徴にしてお誘いしている。山行のレベルは初心者から中級程度。そして何といても季節ごとの展望と花々の観賞が楽しみ。これまでに其々に魅力あふれる13回の山行をしんだ。先日の月山の山行では全山紅葉に彩る絨毯のような絶景に一同大歓声だった。このような楽しい山行になるように山選び、ルールも計画している。

トレッキングは中高年の健

東北には魅力的な山々が沢山あり、まだまだ感染対策をしながらも仲間を増やし月1回の定例山行を中心に、会員の交流も深め楽しみたいと思っています。



# 考察 冬山の安全登山のポイント

## 山は、夏と冬では全く違う

全国連盟理事・遭難対策部長 石川 昌

日本の山は、夏と冬ではまったく違った景観となり多くの登山者はその魅力に取り付かれる。冬になると深い雪で山は埋まり、夏の滝は氷

壁となり、その表情を刻々と変える。

森林限界を境にして、雪の美しさや困難を同時に味わえる。風雪や雪崩・滑落・転倒の危険は増す。「安全登山」で冬山を楽しむ為には、それに見合った技術・知識・体力等が必要になる。それ

過去10年間の積雪期事故のデータを分析し、そこから見えてくる現在の登山状況を検証して「安全登山」のポイントを考察してみた。

登山形態では積雪期登山自体が、高齢化が進む中で減少傾向にあり、それにコロナ禍の影響を受け事故者数も激減している。冬期登山、氷壁、山スキーについては、大きな変化は見られないが、近年の事故は、登山開始前で転倒や滑る事

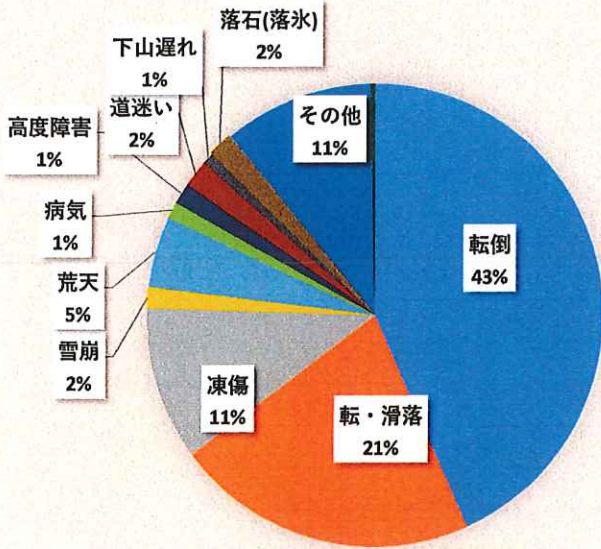


図-1 10年間の(2010~2021)積雪期登山の事故原因

発生する事例もあり、基本動作やアイゼンワークの練習不足もあると思われる。山スキーは、このコロナ禍でも盛況で各地で山スキー

登山を見かける。今年は山スキー事故の発生が総数の半数以上になった。事故原因の一覧からは、転倒事故が毎年同様の事例として報告されている。事例の状況を見ると、アイゼンの引掛けや躓きが多い。凍傷については、無理な行動が要因で発生し、基本的な知識が不足している為に病状を悪化させている事例もある。 労山内での雪崩の事故は各地での雪崩講習会が功を奏しているのか、この数年発生していない。しかし、スキー場等のバックカントリーでの雪崩事故は毎年発生している。

数少ないが、冬期登山や氷壁での落水事故が発生している。人工の氷壁が各地で作られ、そこでの事故事例もあり、注意が必要だ。 荒天や病気・高度障害等の事故は減少しているが緊急事態宣言が解除された今シーズンの冬山は、登山者の増加に伴う事故発生が危惧される。 「安全登山」を意識して、今シーズンの冬山を楽しんで頂きたい。

	転・滑落	雪崩	荒天	病気	その他	不明	計
死亡者数	11	7	6	2	1	4	31

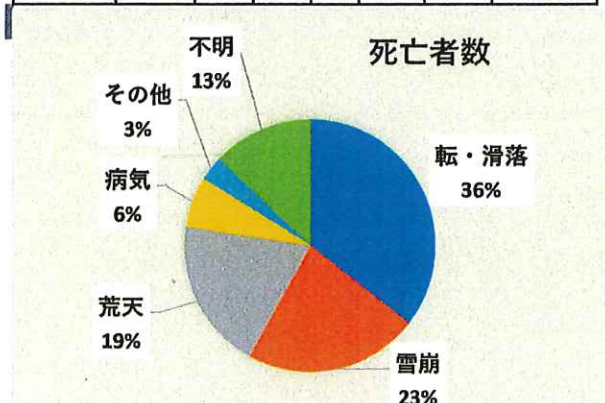


図-2 10年間の(2010~2021)積雪期登山の事故原因別の死亡者数



北海道  
道央連盟

# 山筋ゴーゴー体操講習会

## ナ禍今年最初の講習会

今年の山筋ゴーゴー体操講習会は、開催することが困難と思われていた。北海道道央連盟は、最初の予定を延期して10月15日(金)開催にこぎつけた。

参加者は、23名(女性14名、男性9名)、石田講師、久保・



スクワットで頑張る参加者

小池サポーター指導のもと、18時〜21時まで3時間実施した。

参加者は精力的に山登りをやっているようで、体が柔らかく、講師の指導をよく理解して取り組んでいた。



参加者の記念写真

山筋体操を実施した地方連盟

11月7日(土)

大阪府連盟主催

11月14日(日)

長野県連盟主催

11月28日(日)

埼玉県連盟主催

山筋ゴーゴー体操  
サポーター講習会

12月11〜12日



# Tシャツ

## 好評 発売中

●1枚 1200円+送料100円 ●5枚以上注文すれば送料は無料  
※生地は、ドライTシャツ(ポリエステル100%)吸汗・速乾です

山筋ゴーゴー体操講習会などで、山筋ゴーゴー体操の「Tシャツほしいね〜」という声もよせられていました。全国連盟・山筋ゴーゴー体操推進委員会は、要望に応えるため検討してきました。デザインをどうするか議

論した結果、労山会員がボランティアでやっていたことになり、Tシャツを作成して販売することになりました。Tシャツは一般用とサポーター用の2種類あります。



右側のTシャツが一般用です。  
左側がサポーター用です。



- 別紙の申込用紙で申し込んでください
- 申込用紙は、全国労山HPからダウンロードできます。
  - 問い合わせは、03-3260-6331 (am10:00 ~ pm6:00)
  - 申込先 mail=jwaf@jwaf.jp fax 03-3235-4324
- 日本勤労者山岳連盟・山筋ゴーゴー体操推進委員会



日本勤労者山岳連盟

A4判120ページ  
手渡しの場合は400円

申込は全国連盟事務局へ

全国労山の60年の歩み

一冊500円

(送料込み)